

骨盤臓器脱

女性泌尿器科外来へ

女性と男性では心も体も異なります。女性では骨盤の中のしくみが男性とは異なります。骨盤底と呼ばれる骨盤の奥には赤ちゃんの通る産道である腔を中心に膀胱、子宮、直腸が収まっています。

骨盤底に生じる女性に特有の病気について、専門的な理解と治療を行う外来として女性泌尿器科外来が全国的に誕生しています。女性泌尿器科外来では骨盤臓器脱、腹圧性尿失禁、間質性膀胱炎という病気を主に治療しています。

佐久総合病院 泌尿器科 柏原 剛 医師

女性泌尿器科外来とは
泌尿器科はおしっこに関わる病気を治療する専門科です。
野際陽子さんが出ていたテレビ広告でご存知の方もいらっしゃると思いますが、切迫性尿失禁や過活動膀胱という病気で、少しは皆さんの身近な診療科になっているかもしれません。しかし、排尿に関する病気を扱うので、どうしても恥ずかしいとの思いが強く、泌尿器科にはかかりにくいという女性の方が多いようです。そこで、女性特有の病気を専門に扱う女性泌尿器科外来に気軽に受診していただき、病気に悩んでいる方への専門的な治療を行うようになってきています。



骨盤臓器脱について

骨盤臓器脱とは耳慣れない病名ですが、女性泌尿器科の中でも多くの方がお困りです。古代エジプトの文書にも書かれているほど古くから知られています。膀胱、子宮、腸が脱腸のように腔から飛び出してくる女性特有の病気です。以前は、膀胱瘤とか子宮脱という病名で泌尿器科や婦人科で個々に治療が行われていました。最近では、骨盤底の病気として、まとめて治療するようになり、骨盤臓器脱として知られるようになってきました。腔がピンポン玉のように飛び出て来るので非常に不快感のつよい病気です。膀胱が飛び出



再構築で新築される予定の佐久総合病院基幹医療センター(仮称)には女性泌尿器科外来ができる予定です。

骨盤臓器脱は、老化や出産により腔や子宮の支えがだんだん弱くなり、いつの間にか、腔へ膀胱が押し出されてピンポン玉のように触れるようになります。肥満などが原因で、腹圧や体重が骨盤の底にある腔へかかることで生じます。
治療
簡単に様子を見かけにリンパサリには子宮を固定して止めるのが有効です。手術はTVM(ティーブイエム)と呼ばれる腔壁メッシュ補強術が現在の主流です。

尿失禁について

尿漏れでも、多くの女性の方がお困りのことだと思います。尿漏れは尿失禁という病気で、咳やくしゃみで尿が漏れる腹圧性尿失禁と、トイレに間に合わずに漏れてしまう切迫性尿失禁の2種類があります。
腹圧性尿失禁は40歳過ぎから自覚する方が増えてきます。出産や閉経に伴い骨盤底の筋肉の働きが変化するため、男性よりも咳や運動などで漏れやすくなります。
尿失禁は高血圧よりも罹

骨盤臓器脱がひどくなると、手術が必要になります。最近では手術方法が大きく変わり、TVMと呼ばれる腔壁メッシュ補強術という手術が広く行われています。TVMはポリプロピレンメッシュと呼ばれる網で腔をハンモックのように吊り上げて膀胱や子宮の飛び出しを押さええます。手術には麻酔が必要ですが、傷はあまり目立ちません。1週間の入院で手術可能です。

治療は、ペッサリーという医療用リングで子宮を押さえて様子を見ることができですが、骨盤臓器脱がひどくなると、手術が必要になります。最近では手術方法が大きく変わり、TVMと呼ばれる腔壁メッシュ補強術という手術が広く行われています。TVMはポリプロピレンメッシュと呼ばれる網で腔をハンモックのように吊り上げて膀胱や子宮の飛び出しを押さええます。手術には麻酔が必要ですが、傷はあまり目立ちません。1週間の入院で手術可能です。



加齢に伴うことが多いので、すべてを良くすることはなかなかできませんが、泌尿器科では皆さんの排尿のお困りへの手助けをこれからもしていきたいと考えています。
腹圧性尿失禁は、尿失禁体操と呼ばれる骨盤底筋運動を行い様子を見ます。尿道、腔、肛門はこの骨盤底筋でつながっています。肛門をすぼめる運動で、骨盤底の筋肉を鍛えて尿を漏れにくくします。
尿失禁がなかなか改善しない時は、TOTと呼ばれる尿道メッシュ補強手術が有効です。麻酔が必要ですが、5日間の入院で手術可能です。傷はほとんどわかりません。

病率が高いと言われていますが、恥ずかしさからか、その方々の多くは泌尿器科には受診されていません。